

THEATER 10代のための演劇 FOR TEENS

●「自ら考え生きる力」を演劇で

劇団うりんこは、10代の若者たちが抱える「願い」や「悩み」に寄り添い、演劇を通して成長を支援してきました。

2023年には創立50周年を迎え、これからの時代を生きる中学生・高校生に向けた活動をさらに広げています。

現代は、対面でのコミュニケーションや五感を使った体験が減少しています。その中で劇団うりんこは、演劇を通じて10代の「生きる力」を引き出し、他者と協力しながら未来を創る力を育むための体験を提供しています。



終演後の交流会



高校生との演劇ワークショップ

● 10代の「今」を大切に

10代は心身ともに急激に成長する転換期。さまざまな経験が心に深く刻まれやすい時期でもあり、そのために物事を非常に繊細に、そしてシビアに捉えることができます。劇団うりんこでは、演劇の技術を活かしたワークショップや公演後の交流会を通じて、10代の皆さんの「今」に寄り添う活動を行っています。ネット情報や先入観にとらわれず、10代の人たちと実際に言葉を交わしあい、現代の中学生・高校生が最も求めているものを理解し、それを作品作りに活かしています。

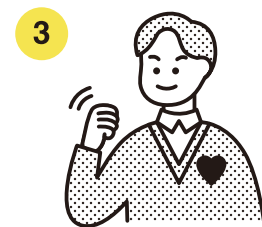
私たちは、以下の3つのポイントを中心に演劇をつくっています。



1 現実世界への興味・関心を高め
他者と共に生きる力を育てる



2 自ら問題を発見し
解決する力を育む



3 自己を再発見し
自尊感情を育む

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



TEL. 052-772-1882

FAX. 052-771-7868

info@urinko.jp www.urinko.jp

〒465-0018

名古屋市名東区八前一丁目112番地

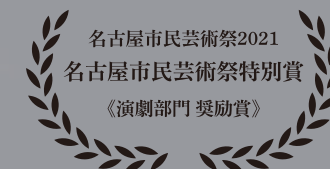


あんたが幸せになることだよ

わたしわたし、
ぼくとぼく+GL BT ALO

作・演出：関根信一（劇団フライングステージ）

美術：岡田保（演劇組織 KIMYO/ かすがい創造庫） 照明：四方あさお 衣裳：さくま晶子 音楽・音響：内田アダチ
宣伝美術：イラスト/伊藤ちづる デザイン/オフィスニーフェ 演田邦彦・千寿 写真/清水ジロー 映像/山内崇裕





「自分とは違う人」も大切に出来る世界を

ストーリー

保育園に勤める30歳の健人は、男性保育士に対する保護者の偏見に落ち込み、ゲイである秘密を打ち明けられず引きこもってしまった。ある日、鏡を見ていると、1人の少女が現れて、言った。『世界を救って欲しい』少女に導かれて1997年の教室へ。そこで10歳の自分と出会い…

高校生のみなさんへ

このお芝居では、LGBTQ（レズビアン、ゲイ、バイセクシャルなどのセクシャルマイノリティーの頭文字）を題材として扱っています。お芝居で描いたのは用語の説明ではなく、人と人の関わり方、一人一人違う生き方をどう認め合っていくかという事です。劇中では、そういった人たちをからかったり貶めたりするような言葉は使わないように努めました。誰にでも無縁ではない、いじめや孤立の問題をいつもとは違った切り口から描いてみた作品です。どうぞ最後までごゆっくりご覧ください。

作・演出 関根信一

関根信一 俳優、劇作家、演出家

1992年よりカミングアウトしているゲイの劇団フライングステージ代表。現代日本のゲイの姿をリアルに描く演劇作品を作り続けている。



この作品の
ダイジェスト映像



うりんこ
青少年向き作品年表